



第 116 号  
 〒950-2022 新潟市西区小針4丁目5番18号  
 真宗佛光寺派 **瑞林寺** 光輪会  
 電話 (025) 266-1846 ・ FAX (025) 266-1907  
 瑞林寺ホームページ http://www.zuirinji.com

当日の月参りはお休みです

- お願い**
- お供えの飲み物・生ものはお持ち帰りください
  - 使用後の桶等は所定場所にお戻しください
  - 境内特設ゴミ箱の分別にご協力ください

お願い

■ 本堂のお参りの後、お墓にお参りします  
 (墓前読経は僧侶が待機しております)

■ 院主(住職)にお盆の挨拶をします  
 (光輪会費・徒弟養成費、本堂で受け付けております)

■ 本堂の阿弥陀さまにお参りします

お参りの作法・手順

令和元年  
 八月十三日 火

お盆案内



月に一度は私の寺へ 聞法の日  
**しんらんさまの日**  
 毎月28日 午後1時30分

**猛暑!**  
 今年もかき氷やります  
 お参りの後にもらおう!



臨時駐車場は桜井建設設計様の  
 ご好意で使用しております



平島と新潟を探る

天正六年(1578)謙信のあと上杉家の家督争い「御館の乱」が起こります。景勝は敵対する景虎派の拠点、三条城を天正八年(1580)六月攻め落とし越後を支配下におさめます。景勝は三条城に甘粕長重をおき、平島にある関所を直轄領にのみこみ、代官に家臣西方弥右衛門を任命します。この「平島之関」が「平島」の地名の二度目にあらわれる記録です。

翌天正九年(1581)六月、阿賀北の武士をまとめ景勝に協力した新発田重家は、その恩賞の不満から新潟に出入りする船の通行税「沖の口」の権利を奪い取る事件が起こる。これに対して景勝は、即座に平島郷新潟の後の川沿いに木場城を築き、天正十五年(1587)新発田城を攻略して越後を統一する。その七年の間、両軍は信濃川の下流、中洲に築いた寄居(砦・城?)をめぐって攻防をくり返し、新潟沼垂の町人をまきこんでの戦いです。

平島之関は今の関屋か

港に入る通行税はいつの世でも最も貴重な税源です。信濃川の河口をふさぎ「沖之口」の権利の争奪は支配者の運命を制する分かれ目です。上杉景勝は、三条の城を落とすと直ちに平島之関を直轄領とする、これは支配者の政略の常といえます。

「関」といえば関所。関所は他国の商人の出入りや取引の大切な所。当然それは繁華な町に入る手前の玄関口、平島郷の下流のどこかに関所は設けられるはず。そこで素人の愚考ですが、平島之関とは今の「関屋」の地を指すのではないかと。関屋とは、「関所の役人が詰める番小屋、関守の住む家、交通上の要所に設け、通行人の取り調べを行う所」とあります。

関を設ければ番小屋や取締る役人の住まい、他国の商人や船乗りの宿、遠く海を運ばれた品々や上流から舟で下ってくる米が納まる蔵がつらなり、人々が住み着けば、土地を護る鎮守の祠も祀られ、御師たちも巡ってきます。景勝が新発田重家を破る六年後の天正十九年(1591)には、「伊勢の御師の次太夫、新潟の地で屋敷二軒分の免税を上杉家より許された」と伝えられ、明治三年の調べには、

新潟神明宮に掲げられる兼統の書と伝える「船江神社の額」の由来を「伊勢ノ御師某、直江山城守(兼統)ヨリ除地ヲ給リ、元新潟関屋村辺之地ニ大御神ヲ祭り候ヲ後ニ当地へ遷り候」と、答えています。現、東堀通一番町の「船江大神宮神明宮」が「関屋村辺」にあつたとの伝承は、「平島之関」が関屋に設けられるヒントとはならないか。平島郷新潟が砂丘の裾つたいに沿って移りゆく模様がかがわれます。

赤塚が新潟発祥の地か

江戸の中期、天明四年(1784)大瀬庄左衛門という人の覚書に、「蒲原郡船江津新潟は永正(1504~20)の頃まで赤塚村辺に湊あり、土生田の里の内にして新賀田という。漸々河海の変遷に従い、天文(1532~54)の末には今の青山村に移り、元和二年古志郡長岡城主堀家の領地たりし時、関屋村と寄居村の間に転ず」とあり、この伝承はこれまで無視されてきましたが、今日あらためて注目されています。赤塚から新潟への海岸の砂丘の形成と大河の変化の中、1600年を前後に、中世から近世の変わり目の激しい時代変化の中、新潟の町と住民の姿が偲ばれます。

淤泥華 おでいげ

七月十七日・十八日と小針中学校三年生の職場体験がありました。今年男子二名、女子二名の参加です。住職からお経の練習、坊守からお茶の入れ方とお客さまの接待、職員の方から境内の掃除を指導してもらいました。例年からは少ない人数でしたが元気がいっぱい、まじめに働いてもらいました。さすがにお経の練習の時の正座はきつかったようです。

七月二十七日は坂井輪仏教会主催の寺コンです。毎年護念寺様を会場に今年も男性16名女性15名の参加でした。今年も男性が積極的でした。お話も上手でうまくいきそうなお話もあつたのですがこれもご縁、今年は一カツプルしかできませんでしたが、その場でのカツプル成立はありませんでした。この暑さで相手のメールアドレスなど交換していったようです。その後の進展に期待です。八月に入って一日・二日と寺子屋習字教室でした。この暑さで本堂も熱気ムンムン。それに加えて習字の部屋のエアコンが故障してしまいました。急遽、お盆でも恒例のかき氷機の出動です。イチゴにメロンにプルプルとハワイとおかわり自由。子どもたちは大喜びでした。水鉄砲で遊んだりちよつとしたお祭り気分でした。習字の酒井先生、佐藤先生に聞くと暑い部屋の中、集中して練習していたそうです。一番たいへんだったのはお二方の先生でした。どうもお疲れさまでした。

